

新潟県

公民館月報 1

平成12年1月号 通巻第563号



表紙 緑の少年団
三二門松づくり
(関川村公民館)

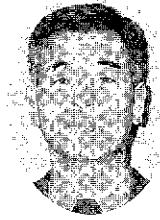
特集 海外研修視察報告記
第33回欧州社会教育事情視察に
参加して

視 点 ふれあい出前講座の果たす役割
ひろば 公民館活動と老人クラブの連携
サークル交流 コーロ・カンタービレ (柏崎公民館)
佐渡相川ふれあいガイド (相川町公民館)
素顔拝見 倉又愛子さん (糸魚川市)
渡邊清子さん (刈羽村)

新年を迎えての年頭所感



揮毫 今井会長



私の生き方も変えた公民館

会長 今井昭友

昨秋、設立五十周年を迎えた新潟市公民館は、祭りやシンボジウム等の記念イベントを行った。標題は、そのシンボのテーマである。会場は新潟東映ホテル、参加者二百人を前に、各地区公民館で活動して来た二十代から七十代の男女十人によるリレートリークを簡単に紹介したい(敬称略、所属公民館)

公民館の油絵講座が縁で描き続けること三十年、プロへの道へ進み、家業と絵、二足の草鞋を満喫。(安井賞候補、文化村さかいわ) ②樋口隆太郎(関屋)「燃えた・ふるさと学習」、遂に関屋今昔物語の地図作成。公民館アドバイザーとして八面六臂。(郷土史研究家) ③倉田葉弥美(中央)「妊娠八ヶ月で新潟に転勤、「ゆりかご学級」が、キレそうになっていた自分を救う。この出会いを一生の「宝」とし、現在は「保育ボランティアで奮戦中」に聴衆は感動。(京都出身、若き母) ④佐藤健一(坂井輪)「公民館手話サークルで、地域に健聴者と共に手話コミュニケーションを目指す。平成九年、県内初の手話ミュージカルで優勝。(聴覚障害者) ⑤関本哲郎(中央)「三年前、妻に尻をたたかれ父親学級に入学、卒業後OB会を作って輪を広げ、交流のコミュニケーションだけ皆勤。(動楽関所会員電器屋) ⑥清水富二夫(石山)「四十年世話になった地域への恩返しに書道講

座の開設が発端。特養のボランティア、地域歴史を学ぶ会、料理教室「メンズ・クッキング」は平成九年、総務庁長官表彰、歌の会と多才な実践派。(協議会誌編集長) ⑦大竹美江(鳥屋野)「独り暮らしの高齢者へ弁当を作り続けて十一年。月一回から二回を目指し、次世代へ受継ぐ共生の地域作りを展開。(公運審、サザエさん代表者) ⑧星島卓美(東)「平成六年、公民館の「環境講座」を機に、新潟水辺を考える会と通船川の再生に向けた地域学の先駆として、官民一体となった「市民会議」を起こす。(通船川ルネッサンス21代表、居酒屋) ⑨鹿執優子(坂井輪)「平成八年、地域学でゴミ問題を学習後、自主グループを結成。廃油石鹸、空き缶を使ったみこし作りを通じ地域に環境問題の啓発をしている。学ぶ楽しさを公民館で発見。(地域学会員、民生委員) ⑩谷恒(東)「平成三年、公民館主催「二歳児とあそびの集い」を受講後、子育てやお母さんの学習グループを結

成し、現在は指導にあたる。(公運審、親子遊び指導者) 以上の内容で、あっといふ間の二時間が過ぎた。座学から学びへの実践、そして、地域還元と社会参加に生きがいを見出す姿に魅了された。

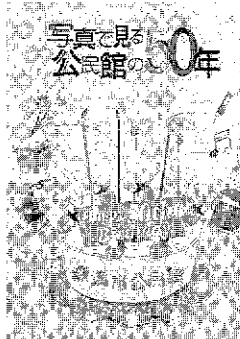
終了後は興奮のうちに祝賀パーティー会場へと向かった。今年の七月には、北蒲聖籠町で県公民館連合会創立五十周年を祝う県大会が開かれる。一昨年の十日町市、昨年の見附市と新潟市に続き、県内市町

公民館振興市町村長連盟
平成11年度理事・代議員会開催さる
県公振連小林一三会長(新潟市長)出席
平・11・11・29(月)
於東京都・麴町会館で

去る11月29日(月)、東京・麴町会館に於いて平成11年度理事・代議員会が開催された。公務が多忙の中、県公振連小林会長(新潟市長)が都合差し繰って参加された。議事は、第1号議案、平成10年度事業報告及び収支決算について、第2号議案、平成12年度事業計画及び収支予算案について審議され、両議案ともにそれ

村も半世紀の区切りとして先人が残した公民館、社会教育の「産物」を次代に引継ぐことも大切にした。元貞

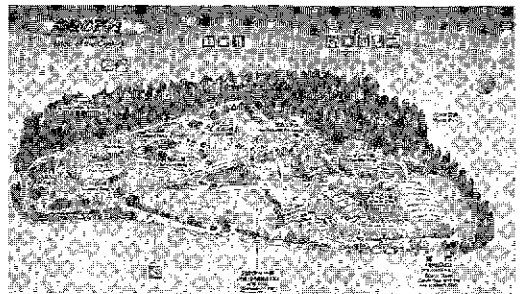
記念のリーフレット



関ブロ公連理事会研修会開催

於国立オリンピック記念青少年総合センター

平成11年11月30日(火)~12月1日(水)

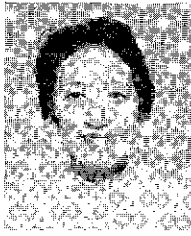


1. 平成12年度第41回関ブロ大会について
担当県である茨城県公連の原案について協議したが、一部訂正等あり、次回の理事会で再度協議することとした。
2. 平成12年度第23回全国公民館研究集会について
当ブロックには、三つの割当て分科会があり、第3分科会の司会が長野県、同分科会基調発表が埼玉県、第7分科会基調発表が茨城県となった。
3. 平成13年度第24回全国公民館研究集会について
担当県である長野県公連から提案があり、概要について協議したが、詳細については、後日の理事会で再度検討することとなった。
4. 各都県公連50周年記念事業について
平成12年・13年に設立50周年を迎える各公連の取組みについて情報交換を行った。財政事情の厳しき折、各公連の若しい工夫がなされていた。
5. 全公連の取組みについて
全公連も50周年記念事業を企画、準備中とのことであった。

視点

今や人生80年代、「いつでも、どこでも、誰でもが学べる」を合言葉に各地で生涯学習の推進が図られています。

加治川村でも平成8年度に住民の意識調査を基に生涯学習推進プ



ラン「さくらプラン」を策定しました。以来推進体制の基盤整備を進めながら今年度7月から事業の一つである「ふれあい出前講座」でスタートしました。各課から出された42種

対の声もありました。最終的には生涯学習は村全体の仕事に関わることや自己研修につながるというところで理解をいただき、今までに7件のお呼びがありました。一番多かつ

これから始まる地方分権の時代は、住民に一番身近な市町村が主体となり仕事を進めていくこととなります。まず村の進める施策に対し住民の理解を得、関心を持ってもらい住民と共に作り上げる村づくりができればと

今後公民館活動と老人クラブの連携が望ましいと思います。

前田 圭子

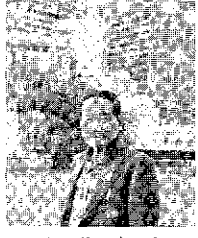
類のメニューの中から5人以上のグループの申請により役場職員が出向き、村の仕事について話をさせていたただくこの事業について、初めは職員の間から反

たのは来年4月から始まる介護保険で、住民の皆さんからは聞いて良かった、またお願いしたい、とますますの評価をいただいています。今後はモデル地区

(加治川村 中央公民館 館長)

公民館活動と老人クラブとの連携

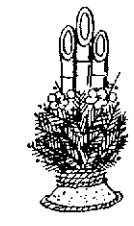
栄町公民館運営審議会委員 梨本 寛 治



愈々日高年齢化時代となり、人口が老人と言われて居ります。社会福祉制度が根本的に見直され、個人の権利や選択を尊重した制度が進められて居ります。平成十二年四月実施される介護保険は、義務付けられて居り、私連の年金から差引かれ、誠に厳しいような気持もありませんが、当町にも「さかえの里」を始め、種々老人施設があり、老後の心配も安心出来るようにも思われます。

ひ る ば

今後公民館活動と老人クラブの連携が望ましいと思います。



◇はじめに

社団法人 全国公民館連合会

主催の事業として、全国から応募の六名の関係者とともに、十一月十一日(木)から二十四日(木)までの十四日間、スエーデン、イギリス、ベルギー、スイス、フランスの五ヶ国を精力的に視察し、研究してきました。今回の訪問先の多くが、成人教育関係の施設でしたが、民間の行う成人教育あり、青少年の施設ありと、大妻バラエティに富んだ内容の研修ができました。また、昨年参加した十日町市の桜沢秀



視察に参加して

区公民館長 伊藤 高

子さん同様、イギリスでのホームステイでの貴重な体験(後述します)が強烈な印象として今なお残っています。

- 一、スエーデン
- 一 ストックホルム市
- 文化・スポーツ課

〔概要〕

公共施設の管理・漁業資源の保護、クラブや図書館に対する支援、スポーツ施設の予約業務のほか、障害児や青少年のレクリエーション施設の管理、スポーツ協会員の会費助成など多彩な業務を行っている。

〔目的〕

市政の目標の一つに、多種多様な文化を奨励するというのがあり、奨学金の授与・成人教育組織への助成金提供などをしている。

〔特色〕

移民のための組織にも助成金を与えたり、くじの許可をしたリ、漁業資源の保護、ヨットハーバーも管轄業務とするなど、日本の文政行政とは異質な感があったが、役割分担が明確になつていて、せいと淡々と話しぶりに好感をおぼえた。

二、イギリス

一 ケントウッドセンター



ケントウッドセンター全景

〔概要〕

イギリス、ロンドン市ブロームリー(自治)区公営の成人教育の本部であり、最大のセンター。イギリスの公営の成人教育は各区ベースで担当している。訪問した区では、区内を十二区に分け、四つのセンターを保有している。

〔目的〕

生活をより豊かに、仕事に習熟することを目的に次の四つの理念を掲げている。①アカデミック(学問的) ②クリエイティブ(創造的) ③フィジカル(作業的) ④ロール・インストラクション(資格指導)と、一般の成人教育と職業訓練の機能を併

せもっている。

〔特色〕

このセンターには、居住者外でも外国人でも誰でも入校できる。新たな成人教育は、一九六〇年代後半から七〇年代にかけて急速に展開されてきた。社会の急激な変化への対応、日々変化する技術革新への対応が底流にあることが、その理由である。

- 三、ベルギー
- 一 ウェストランド
- 文化センター

〔概要〕

フランマン語圏の一番大きな文化センターの一つ、センターはコミュニティの大きさによって規模が決定される。A、B、C、Dとあり、訪問したセンターはAクラスで、四つの部門を持つた施設。日本流で言えば、公民館、図書館、文化センター、児童館が同居する複合施設。

〔目的〕

文化活動を中心としつつも、地域に根ざした住民のゆとりの場、学びの場、生活そのもののセンター。

〔特色〕

国や自治体からの援助もあるが、自助努力でバザー、貸し料なども徴収する民間のセンター。展示物は一ヶ月毎に取り

替えられる。また、絵画の貸し出しもする。借り受けて気に入ったものがあれば販売もする。講堂は、結婚式、ミーティング、ダンスパーティーなど何でもこなすシンブルな広場

- 四、スイス
- 一 エコールクラブ
- ミグロス

〔概要〕

ミグロス社は、一九二五年にゴットフリート・ダットバイラー氏が設立し、ヨーロッパに五〇〇余のストアを持つスイス最大のスーパーマーケットであり、社の規約に「売り上げの1%を教育活動に充てる」と定められ、そのうちの50%がクラブスクールの運営に充てられることになっている。日本という企業利益の社会還元、地域還元に近いスタイル。

〔目的〕

「あるご夫妻が、善良な市民のために」を会社のスローガンに、大きく成長し今日に至った。真の目的は、「利益を得るだけでなく、人間の幸せのために」である。

〔特色〕

前述のように、企業の姿勢にバックボーンがあり、開設内容も、当初の語学から、地域の要

《海外研修視察報告記》

第33回欧州社会教育事情

◎視察団員

新潟市鳥屋野地

望を受け、四〇〇のクラス、三〇〇のコースを持っている。企業だけに、変り身の速さが懸念される反面、柔軟な発想が期待できる。

五、フランス —デュワノクラブ活動

センター

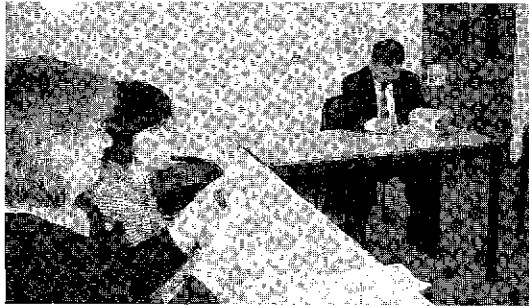
〔概要〕

一九〇一年法という法律によって設立されたパリ市公営の青少年施設で、日本でいう児童センターの青少年版。

〔目的〕

子どもの生活の乱れの大半の

責任は成人にある、との信念から、多くの子ども、青少年を差別なく受け入れる。
〔特色〕
「全てをオープンに」「互いに尊敬しあう」「他人を思いやる」を施設のモットーに、近隣の住民の協力の下、幾多のトラブルを克服してきた、との所長の話に胸打たれた。



質問に答える担当者

六、研修を了えて

公式訪問先についての詳細は前述のとおりですが、いくつかのエピソードのうち、次の二ツが強烈な印象で迫ってまいりましたので、紹介させていただきます。

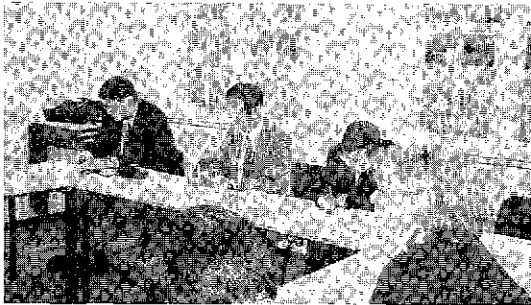
(一) フランスの訪問先で

三重県の参加者が「日本では近年、学級崩壊とか援助交際とか、性の乱れ等が顕著に見られるが貴国の現状は如何か」という質問をしたところ、訪問先の所長は、「性の乱れというが、乱れの基準をどこに置いているの質問なのかわからない。日本人はとかくアバウトな質問をしたがるが、論点を明確にした質問以外は答えかねる」と、ピンリと釘をさされました。外国の文化、生活習慣、論理の組み立てを明確にしないと真の国際人になりえない」と痛感した。

(二) イギリスの訪問先で

イギリスでは、名物の交通渋滞に巻き込まれ、訪問先への着時間が三〇分遅れた。会談冒頭から面会者に、「本日の訪問は、〇時からと聞いている。あなた方の都合で三〇分遅れたのだから、三〇分延ばすことはしない。何故なら、遅れたことは皆様の責任であり私の責任ではないからです。」と、日本の甘さがない原理・原則を大事にするイギリスの姿勢が、強い物言いとともに印象に残った。
また、同じ日のホームステイには交通渋滞で一時間遅れた。ホームステイをまとめる責任者は激怒し、時間の観念の薄い皆

さんのホームステイなど、どんなでもない、一時は全員のホームステイが叶わない事態も予想されました。私は運悪く、その責任者のところにホームステイしました。相手の山口館長(与野市)が手品(マジック)で孫娘(三人)と遊ぶ姿を見て、漸く怒りをおさめてもらいました。いろいろな体験をした十四日間でしたが、ご配慮いただいた関係各位に心からの感謝を申し上げます。本当に有難うございました。



熱心にメモを取る筆者

◇視察日程

- 11・11(木) 成田発→コペンハーゲン経由ストックホルム着
- 11・12(金) ストックホルム市文化・スポーツ課訪問
- 午後市内視察(大聖堂等)
- 11・13(土) ストックホルム発→ロンドン着 着後市内視察(大英博物館等)
- 11・14(日) 自由視察
- 11・15(月) ケントウッドセンター訪問
- 11・16(火) ロンドン発→ブリュッセル着 着後市内視察(王宮、グランプラス)
- 11・17(水) ウェストランド文化センター訪問、その後自由視察
- 11・18(木) ブリュッセル発→ジュネーブ着 着後市内視察(レマン湖畔等)
- 11・19(金) エコールクラブミグロス訪問、その後自由視察
- 11・20(土) ジュネーブ発→パリ着 着後市内視察
- 11・21(日) 自由視察
- 11・22(月) コレージュ・ドフランス訪問 後自由視察
- 11・23(火) パリ発→コペンハーゲン経由帰国の途へ

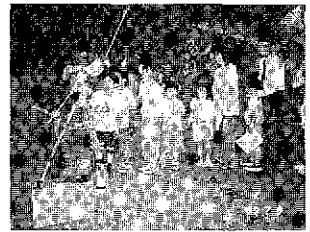


実践記録シリズ(40)

ウィークエンドサークル活動

——みんなであそぼう——

青海町教育委員会・公民館



「さあ、のぞいてみよう」

1、はじめに
物質的に豊かになった現代社会は、その反面人間関係が薄くなり、児童においても社会性の不足や、思いやりなど基本的な倫理観が養われづらくなっているとの指摘があります。

児童が健やかに成長していくためには、学校・家庭・地域社会が連携し合い、「地域ぐるみで子供を育てる」という意識を持

ち、一体となって取り組むことが必要となっていきますし、地域社会がこれらにどのように対処していけば良いのかが問われています。

地域社会が果たす役割としては、児童が様々な年齢の友人や社会人と交流し合える機会と環境を提供し、そして適切な指導を行い得る人材の確保をはかることだと考えています。

TAから希望を取り、親子星空観察会・校庭のブロック壁に絵を描こう・スポーツに挑戦などの活動を実施し、年度末に問題点を協議しました。本年度は、これらの反省に立って別表による活動を行っています。

これらの活動は、年度当初に計画したのもありますが、途中で依頼があったものもあります。それは試行実施でもありいろいろな活動をやってみたいという面、並びにPTA役員が4月で替わることを考慮し、当初から柔軟に対応することとしていたため、年度末までさらに幾つかの活動が出てくるものと思えます。

や講座が自主的に受け皿となって活動を引き受けたい、との希望が寄せられるなど収穫もありました。
また一方、新たな一つの活動として取り組むだけでなく、現在ある各種活動日を土・日曜に移し、いかに児童の参加を得られる内容とするか工夫することも大事との声もあります。
内容面では、学校の延長とみられる座学的活動は児童側から敬遠されること、野外活動に人氣があること(ただし、天候に左右される)などが分かっています。

今後は、指導体制の強化を図ります。
児童の「生きる力」を育てる意味で、「青海おれが・わたしがせんせい」(仮称)という出版人材バンクを立ち上げることや、地区公民館行事との連携強化など課題は山積しています。
4、おわりに
児童の「生きる力」を育てるには、具体的に地域社会はどう対処すべきなのか、今非常に大きな責務が課せられているといえます。今後への取組みのキースタディーとなるよう、多様な活動に取り組みたいと思っておりますし、これが少しでも地域の教育力の向上につながっていくことを願っています。



子田先生を囲んで

平成十四年度には学校が完全週5日制に移行します。週末をいきいきと過ごすための活動はどのようなものが適当なのか、またそのための受け皿・指導者をどうしたら良いのかなど多くの課題を研究するため、3年程度を期間としてウィークエンドサークル活動を昨年度から試行実施しています。

3、成果と今後の課題
試行としての2年をほぼ終え、ウィークエンドサークル活動もその目的が理解されてきました。指導にあたったサークル

2、概 要
昨年度は、取り組む事業、時期、受け皿など白紙の状態からのスタートでしたので、とりあえず各小学校区単位で学校・P

平成11年度ウェークエンドサークル活動実施表

実施日	事業名	内 容	講 師	参加者
7月9日	親子で星を見る集い 夏の星と星座	博物館とサークルの望遠鏡で星を見たり星座の伝説を聞く	天文サークル星ん子の会のメンバー4人	㊦13人 ㊧20人
9月11日	親子でつくろう 楽しもう 和紙のちぎり絵 教室	和紙画を親子、指導者とのふれあいの中で創る喜びをあげよう	子田真一郎先生と講座生	㊦27人 ㊧26人
9月18日	親不知の誕生と 岩石 親子海岸体験	親不知海岸で拾った石を基に親不知の誕生と石の説明を聞く	小野 健先生	㊦11人 ㊧12人
11月6日	星空観察会 秋の星と星座	空気が澄み渡った秋の空の星と星座を見て神話のロマンを聞く	天文サークル星ん子の会のメンバー7人	㊦29人 ㊧17人
11月13日	みんなでニュー スポーツ	ベタンク、スマイルボーリング、ソフトラレーボールを楽しむ	生涯学習課職員	㊦18人 ㊧16人

※参加者欄㊦は社会人、㊧は児童生徒

サークル交流

女声コーラスの

ハーモニ二の魅力

コーロ・カンタービレ

日曜日の夜七時過ぎ、家族との夕食を早めに済ませ、いそいそと集ってくる団員は、歌うこと、合唱の大好きな女性達。教員、保母、自営業、主婦と職業も年齢も様々で、忙しい生活真っ最中のメンバーにとって、九時までの二時間は一週間の疲れを癒し、翌週の活力となる大切なひとときになっています。指導は高校教師を退職され、合唱人生を歩む塚田由幸先生。柏崎弁ありジョークあり、楽し



い中に厳しさもあって、毎回指導に熱がはいります。日本の合唱曲、ミサ曲、童謡など様々なジャンルの曲に挑戦しています。結成三年半、その間、お母さん音楽会、花嫁人形コンクール、市内イベントへの参加、演奏会と充実した活動をして参りました。また第一回演奏会は、練習会場の公民館講堂で開催しました。聴衆と一体感のあるフロア・コンサートとして大成功でした。この会場を拠点に、市民の皆さんにコーラスのすばらしさをアピールしていきたいと思

います。(柏崎公民館 品田 美恵子 記)

出会い、ふれあい、巡り会いの旅づくりを目指して

佐渡相川ふれあいガイド

佐渡相川町は、金山とおけさの町。町のいたるところに、佐渡金山繁栄をしのばせる史跡が点在する。

その相川の史跡を守り伝えようと頑張るサークル。

佐渡相川ふれあいガイド。観光案内活動を通じて、ふるさと相川のイメージアップを図るこ



と、町への愛着心を育てることが我々の仕事。大げさなようだが、我々の印象が相川の第一印象を決めてしまうことになるかもしれないわけだから、とても重要な仕事といえる。「お客様がガイドに期待する以上の満足を感じてもらうことが大切。そして、私たちは、再びここを訪れたいと思いたくなるような、心からのおもてなしをモットーに頑張っています。」

お客様の間になるべく正確に答えるために、生きた情報が必要と、今でも毎日勉強の日々。佐渡金山は二千年に、発見四百年を迎える。相川の海に沈む夕陽も最高。穏やかな風が吹く相川町に是非一度おこし下さい。(相川町教育委員会 末武 義彦 記)

糸魚川市 上早川公民館

主事 倉又愛子 さん

「お早うございます。」「いらっしゃいませ」と来庁者を常に明るく迎え入れてくれるのが、我が上早川公民館主事の倉又愛子さんである。愛子さんは笑顔で声も澄んでいる。電話の対応も相手の立場を考えながら、自分の考えをゆっくり語っていく点は好評である。謙虚でさわやかな人柄で俳句、絵手紙などの趣味の外、本もよく読んで



素顔 拝見

いる。公民館の運営にあたっては、館長の考えをよく理解して館長の片腕として活躍し、任務は積極的に全うしている。公民館は巾広い各種の団体との連携が必要であり、日々精励していることは地域でも認めている。この点は感謝しているが、過労にならないかと思っている。公民館としても朝のスタートこそ明るい勤務の第一歩。今日も愛子さんの笑顔で、上早川公民館活動、生涯学習が始まる。平成十一年十二月 館長 伊藤 佐近 記

刈羽村公民館

副参事 渡邊清子 さん

渡邊さんは、今年四月より教育委員会生涯学習課に勤務された公民館主事を命ぜられました。職務内容は、生涯学習全般・公民館活動の運営など多岐にわたっています。

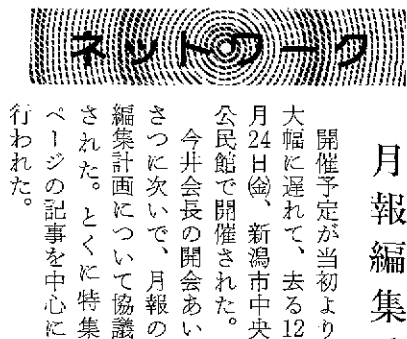


苦勞が何われませんが、自ら公民館講座のパソコン教室で

これらの仕事をこなすことは大変かと思われませんが、日夜頑張っており組んでいる姿勢は、さすがが長年の経験から生み出されたものと感心しております。唯一つ難点を挙げるとするならば、この情報化時代にパソコンが苦手で、日常業務の中でも

若い人と一緒に特訓中です。公民館事業の中でも女性らしい発想が目立ち、ややもするとマンネリ化しそうな内容に新風を吹き込んでくれています。こんな多忙の中、家庭においては、最近二世帯住宅を新築し、可愛い孫に囲まれ、幸せな日々を送っております。(刈羽村公民館 館長 入澤 正平 記)

月報編集委開かる



開催予定が当初より大幅に遅れて、去る12月24日(金)、新潟市中央公民館で開催された。今井会長の開会あいさつに次いで、月報の編集計画について協議された。とくに特集ページの記事を中心に行われた。

そして、今までの掲載記事への反省・評価を踏まえ、今後の要望等についても協議された。また、平成十二年度予定されている五十周年記念事業の一環

「信江」37 「雪国に生きて」

恵贈資料紹介

37号を記録した「信江」、この長い期間、変化する厳しい社会情勢の中で、雪国の婦人の皆さんが、それぞれの時代の生き方を記録した貴重な資料である。地区公民館長の小山哲夫様と、巻頭で述べておられます。この「信江」の同人であり、しかも鉢の「らくがき帳」の同人でもある尾身ミノ様が、「雪国に生きて」と題して、自分史を

である記念誌編纂、公民館月報創刊号から二百号までのCD-ROM化保存(紙質粗悪のため)等について、事務局長からその概要について説明がなされた。

なお、次回には記念誌作成計画(案)の概要と、CD-ROM化保存計画作成経緯について提案説明がなされる予定である。

次回開催は、3月中旬頃を予定している。

十日町市

吉田地区公民館

十日町市鉢

尾身ミノ

刊行されました。

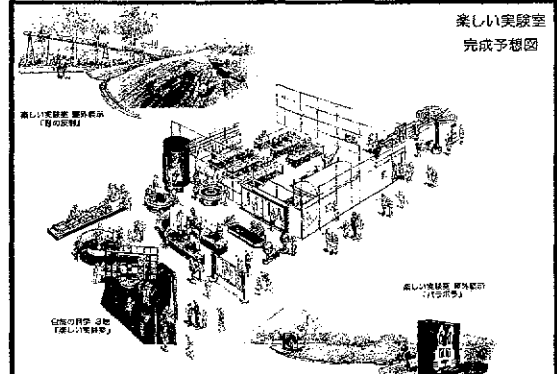
序文には、松田鐵夫様、田村達夫様、山内久様、小山哲夫様等社会教育界の錚々たるメンバーが名を連ねておられます。

本文は、生い立ち、逆境の中での出会い、七転八起、霊地鉢の石仏、綴り続けて37年の五章で構成されておりますが、筆舌に尽くせぬ苦難の中から立ち上がられる様子等が行間に溢れ、



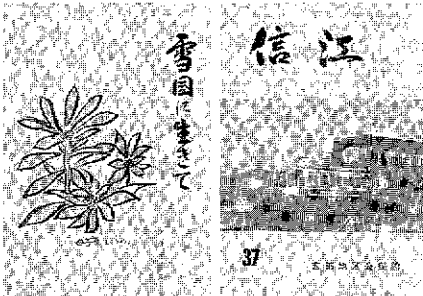
平成12年2月の催物ご案内

- ◇2000年 新展示品◇
- 楽しい実験室 2月26日出オープン!
- 自然の科学3階の「楽しい実験室」のコーナーがリニューアルオープンします。
- 自転車をこいでみよう
自転車をこぐと、自転車が回転!
 - 電巻に入ってみよう
人口電巻を発生させ、電巻の中に入ってみよう!
 - 音の花火
声や拍手で、音の花火が変わります。
 - サイエンス ラボラトリー
楽しい工作や実験ができます。
- ほかにも、たくさんの体験型実験装置がオープンします。



2月の休館日は
7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)です。

お問い合わせ先
☎ (025)283-3331 FAX (025)283-3336
Eメール nsmuseum@bsnnet.co.jp
ホームページアドレス <http://www.lalanet.gr.jp/nsm/index.html>
〒950-0941 新潟市女池2010-15 新潟県立自然科学館



雪国に生きて

信江

37

表紙解説

緑の少年団・三門松ついで(12月27日)
・緑の少年団活動行事である「門松づくり」を行いました。

当日は、村内小学校から47人の団員が参加。指導員からのこぎりやカッターの使い方を教わり、門松づくりに挑戦しました。

半日掛けて立派な門松が完成し、団員数班に分かれて、村内の各老人福祉施設などにプレゼントしました。

(関川村公民館)

あとかぎ

◇あけましておめでとうございます。今年はいよいよ県公連創立50周年記念事業の展開となります。ご支援、ご協力を切にお願いいたします。(鈴木記)

発行所 新潟県公民館連合会
〒951-8053
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【TEL・FAX (025)224-6073】
発行人 会長 今井昭友
編集人 事務局長 鈴木友夫
【定価1部150円 年共1,800円】